

認定書

国住参建第 1404 号
令和 5 年 8 月 28 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0698-1
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付金属強化ポリエチレン管／アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付金属強化ポリエチレン管/アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム・シーリング材充てん/壁耐火構造/貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項目		仕様
開口部	形状	円形(φ144mm以下)
	面積	0.0163m ² 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		5~10mm
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の割合)		86.4%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0049、 FP060NP-0075-1、FP060NP-0185-1、FP060NP-0189、FP060NP-0192-1、 FP060NP-0233、FP060NP-0250-1、FP060NP-0258、FP060NP-0294-1、 FP060NP-0345-1、FP060NP-0360-2、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、 FP060NP-0427-1(1)、FP060NP-0427-1(2)、FP060NP-0441(1)、 FP060NP-0441(2)、FP060NP-0454-1、FP060NP-0485、FP060NP-0487) 厚さ 42mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
熱膨張性シート	表面材 (基材1)	材料	アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム
		寸法	製品厚さ：4.12mm以上 幅：110(-1.5)mm以上
		使用方法	配管に巻き付け(分割及びオーバーラップしてもよい)
	シート	材料	アルミニウムはく積層紙
		厚さ	0.12(±0.02)mm
		材料	黒鉛含有ブチルゴム
		厚さ	4mm以上
	組成 (質量%)	組成は企業秘密とさせていただきます。	
	裏面材 (基材2)	材料	ポリエチレン系樹脂フィルム
		厚さ	0.10mm以下
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系	
	充てん量 (使用量)	壁と配管との隙間 (壁の両側から40g/m以上密に充てん)	

表3 配管の仕様

項目		仕様		
配管	材料	被覆材付金属強化ポリエチレン管		
	外径	φ124.5mm以下		
	配管	材料	金属強化ポリエチレン管 構成 外層：ポリエチレン系樹脂 補強層：アルミニウム 内層：ポリエチレン系樹脂	
		外径	φ63.1(±0.1)mm以下	
		厚さ	5.0(±0.1)mm以下	
	被覆材	材料	①～⑥のー ①ポリエチレン系樹脂 ②ポリウレタン系樹脂 ③ポリプロピレン系樹脂 ④ポリスチレン系樹脂 ⑤フェノール系樹脂 ⑥塩化ビニル系樹脂	
		厚さ	30(+3,-0)mm以下	

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
粘着テープ (熱膨張性シート固定用)	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①片面粘着テープ ②両面粘着テープ ③アルミニウムテープ	
	厚さ	0.4mm以下	
	使用方法	必要に応じて、熱膨張性シートの端部に粘着テープを用いる	

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1に示す。

単位 mm

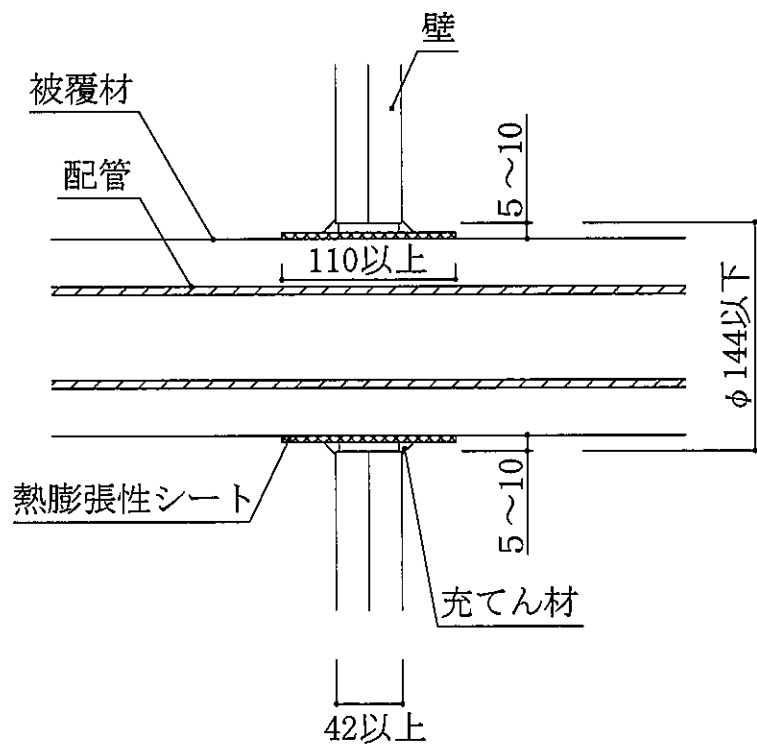
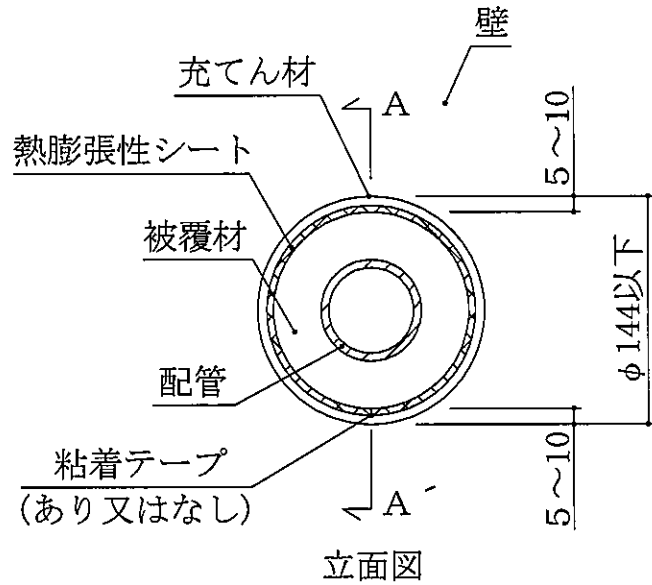


図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、配管の寸法(配管の断面積及び種類等)、占積率、壁の仕様、壁の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 熱膨張性シートの墨出し

配管の熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。

(3) 熱膨張性シートの巻付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻付ける。なお、熱膨張性シート巻付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻付けるか、端部を重ね合わせる。なお必要に応じて、熱膨張性シートの端部に粘着テープを用いてもよい。

(4) 開口部の埋め戻し

配管を所定の位置に設置し、壁の両側の隙間に充てん材で密に充てんする。